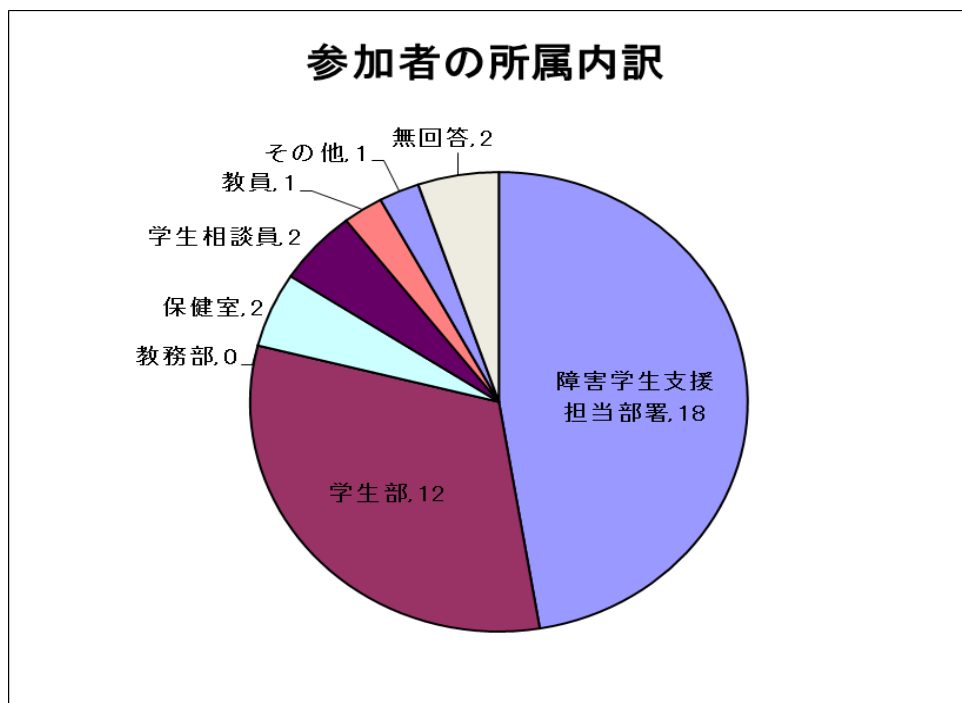


第13回 関西障害学生支援担当者懇談会 アンケート集計結果

平成26年9月3日（水）京都女子大学

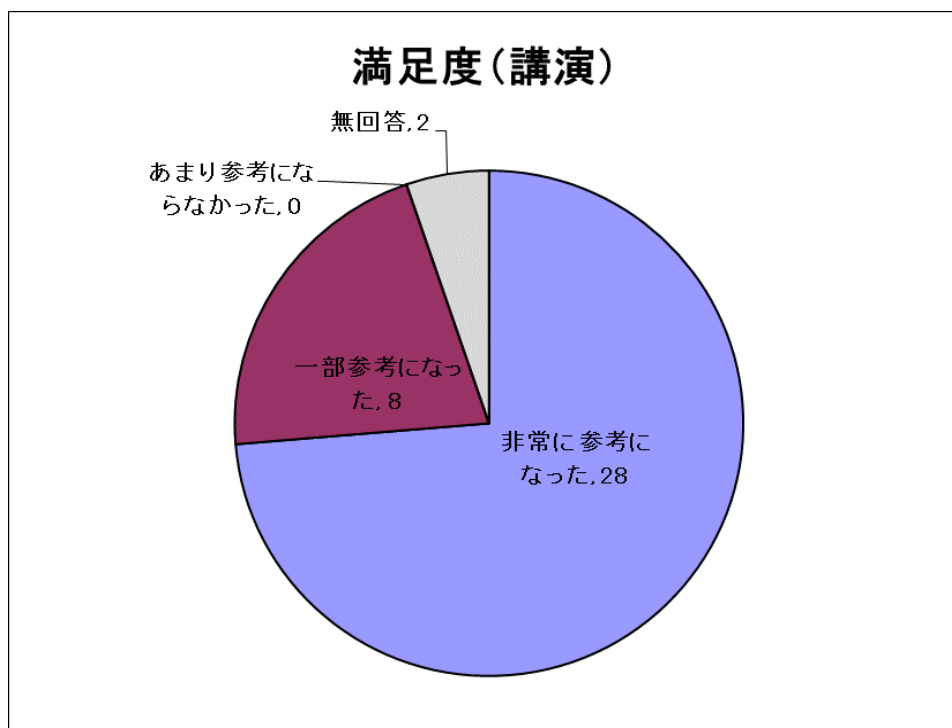
【有効回答数：38（参加者数42名）】

1. 参加者の所属内訳



2. 講演について

(1) 満足度



(2) 今後、講演で取りあげて欲しいテーマ（自由回答）

※各大学の取り組みについて 2 件

- ・各大学の取り組みについて知りたい。
- ・今回のように、ある大学の取り組みを紹介してもらうのがいいと思います。

※合理的配慮について 4 件

- ・合理的配慮と支援の関係
- ・合理的配慮とはいかなるものか。
- ・合理的配慮の周知方法（対教員、職員、学生）
- ・合理的配慮のに関する海外事例、判例など。

※精神障害などの学生の支援について 6 件

- ・精神系（統合失調症など）の障害学生への対応。
- ・精神疾患系サポート
- ・精神障害について、保護者の対応について、就労について。
- ・発達障害以外のメンタル系障害学生の対応について。
- ・発達障害からのメンタルへ問題を抱えた学生へのケアについて。
- ・発達障がいだけでなく不安障がい、パニック障がい、高次機能、統合失調症での対応などもお聞きしたいと思います。

※発達障害学生の支援について 3 件

- ・発達障害学生の就労について。
- ・発達障害学生の生活支援について。
- ・分科会でも少し話題に上がりましたが、発達障害を持ってらっしゃる方、又は本人には気づいていないケースもふくめて各大学での取り組みや支援方法などについてお聞かせいただければと思います。

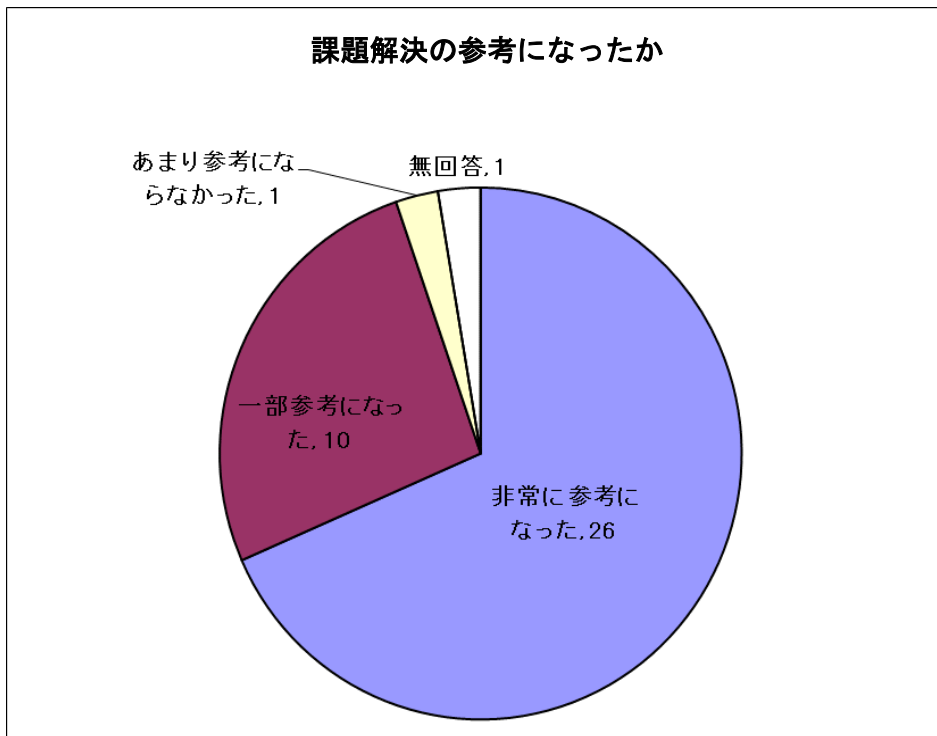
※支援スタッフについて 2 件

- ・サポート学生、利用学生の育成方法。
- ・支援スタッフの育成について。

※その他

- ・障害学生支援に関する各大学さんの規約について。
- ・障害学生支援担当職員の専門性について。
- ・ケース会議の方法、ケース会議を確立していく過程での課題。
- ・父母会（後援会）連携、成績不振者（単位未履修者）への対応
- ・避難（地震）とかの連絡など対応マニュアルがありますか？
- ・事前に質問形式の形でテーマを決めてはどうか？

3. 分科会は課題の解決に向けて参考になったか



4. その他 要望・感想等（自由意見）

（要望）

- ・分科会は希望制をとっていただきたかったです。
- ・ネームプレートがあれば助かります。分科会は率直な話ができよかったです。
- ・各大学の様々な状況を聞くことができ参考になりました。できればもう少しテーマ（議題、問い）が明確になったほうが、より活発で有意義な懇談会になると思います。
- ・分科会形式で進めていくのであれば、出てきたワードを書いて貼りだし、随時情報共有、分類していければ中身がつかみやすいと感じました。
- ・身体障害と発達障害と分けて対応している（別組織で）大学があつてそういうあり方もあるのだなと思った。私の大学は一つにまとまっていますが、他はどうされているのか？分けることでメリットがあれば是非知りたいと思います。

（感想）

- ・多くの大学とつながりがもてて良かった。
- ・4月から担当になり、障害学生支援に係る研修参加が8月の日本学生支援機構主催のものとあわせて今回2度目であったが、身近な関西の大学のご担当者から貴重な情報をお聞かせいただき参加してよかったです。次回も参加できればと思います。

(感想つづき)

- ・他大学担当者の志や経験を共有する機会を頂き、ありがとうございました。課題をひとつひとつ解決しながら現場で頑張ろうという思いを新たにできました。配慮の合理性をめぐっては、まだまだやるべきことが多いですし、悩ましいですが、あせらず（でも迅速に）ひとつひとつ歩みを重ねたいと思います。
- ・初めての参加でした。お世話になりました。ありがとうございました。
- ・分科会では話しやすい雰囲気でお話のサポート状況、難しい点、様々な工夫が聞けて参考になりました。特に通信制でのお話は学びの多様性を痛感しました。やはり関西圏でリソースを共有できる体制作りが必要だと再確認しました。
- ・本学の課題、困っているケースについてたくさん相談させていただきました。過去や現在の対応例について教えていただき大変ありがたかったです。困ったケースはあるということがよくわかりました。
- ・分科会での話し合いが一方的な研修と違いとても有用でした。
- ・いつも大変勉強になっています。ありがとうございます。
- ・障がい学生と支援学生の交流の場について、また詳しく知りたいと思った。
- ・分科会では色々と意見交換ができ勉強になりました。ありがとうございます。
- ・非常に勉強になりました。ありがとうございます。
- ・担当部局の管理職として悩みを共有できたことが大変良かった。また、支援の経験が多い大学の肩の話す内容は示唆に富んでいた。
- ・ありがとうございました。お世話いただいた先生方、ご苦労さまでした。
- ・毎回、皆様とお会いして、現場でご苦労なさっているのに頭が下がりますが、確実に進歩していると思います。今後ともよろしくお願いします。
- ・様々な情報交換ができて良かった。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございます。
- ・今日は本当にありがとうございました。
- ・大変勉強になり、ありがとうございました。今後も大学間の連携を強められるネットワーク構築をぜひ築かせていただきたいと思います。
- ・情報共有・整理ができてよかったです。ありがとうございました。
- ・いろいろとありがとうございました。
- ・大学だけでなく地域と連携して支援することも重要だと感じました。
- ・一人で悩んでおりましたが、みなさんも大変な中やっておられるんだと分かって少し気が晴れました。参考になる意見がたくさんありました。
- ・他大学の情報やご苦労されていることなど勉強になりました。
- ・時間が足りないという感じです。大学間での支援懇談は支援者を支援する唯一の場であると感じます。

以上